

当院でいびきの検査ができます！

睡眠時無呼吸症候群は睡眠中に無呼吸を繰り返し様々な合併症をひきおこす病気です(右表参照)。日本で治療が必要な患者さんは300万人以上といわれていますが実際に治療を受けている患者さんは60万人もいないとのこと。

いびきが引き起こす障害

高血圧(2倍)、糖尿病、高脂血症、肥満、心血管障害(3倍)、不整脈(4倍)、脳血管障害(5倍)、交通事故(7倍)
※()内は正常人と比べての発症率

睡眠中に無呼吸になると身体が低酸素状態となり、脳に酸素を送る心臓や血管などに大きな負担がかかります。

その毎晩の積み重ねで、正常の方と比べると上の表のように高血圧、心・脳血管障害、不整脈などの合併症の確率が高くなります。

また、睡眠が障害されることによりホルモンのバランスも崩れ、糖尿病、高脂血症、肥満などの合併症にもつながります。

その他にも、のどの違和感、早朝の頭痛、倦怠感、集中力の低下、交通事故、アルツハイマー型認知症、発育障害や勃起不全などの症状も引き起こされます。

当院のいびきの検査は、検査キットを使って自宅で気軽に行うことができます。いびきが大きい、いびきで目が覚める、睡眠中に呼吸が止まるなど、心当たりのある方はスタッフまでご相談ください。

